

# 新型コロナウイルス感染症流行による認知症関連事業における 影響およびその対策について

日野市高齢福祉課在宅サービス係 長瀬 和江

日野市の認知症施策では、国の示す「認知症施策推進大綱」の5つの施策の柱ならびに第4期日野市高齢者福祉総合計画をふまえ、市民による支援の輪を広げるための取組み、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の視点やニーズを重視した取組みなど、幅広い事業展開をしています。

しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、集合形式の事業やアウトリーチ事業の中止や縮小がありました。その中で工夫したことについて報告します。

## 令和2年度認知症事業で影響した主な事業

### オレンジ広場(認知症カフェ)

実施場所: 9か所から7か所に縮小  
実施回数: 104回から36回に減少

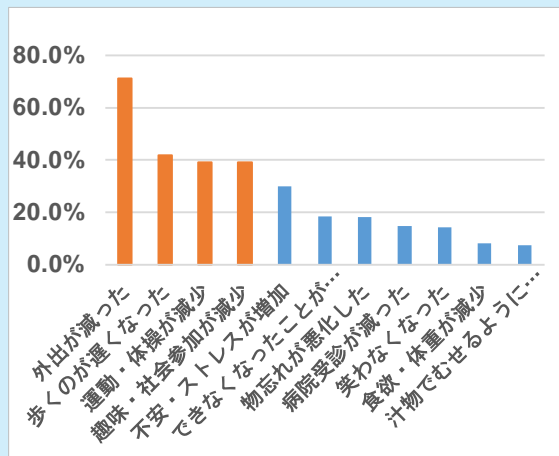
### 認知症サポーター養成講座

実施回数: 61回から40回に減少  
養成者数: 2,378人から620人に減少

令和2年度日野市高齢福祉課が実施した「新型コロナウイルス感染症流行による暮らしへの影響に関する調査」の結果では、外出が減ったと答えた方は7割におよび、物忘れが悪化したと答えた方は2割近くありました。

## Q 自粛生活の中で、暮らしや体調、気持ちに変化がありましたか？

- 1位 外出が減った 71.3%
- 2位 歩くのが遅くなった 41.8%
- 3位 運動・体操が減った 39.1%
- 社会参加が減った 39.1%



外出自粛により、約4割の方が体力低下や、社会参加・運動の機会が減少していることが判明しました。

オレンジ広場（認知症カフェ）は、認知症の方やその家族・地域の方が集い、情報交換を行う場です。オレンジ広場に参加されていた方からは、コロナ禍となり外出が減り家にいるため認知症が悪化するのではないかと心配している、という声や、行き場がなくなり誰とも話す機会がないため早く開催してほしいという声が多く寄せられました。

そこで市の取組として、オンラインでの開催に向け、環境を整えました。

### 令和3年度日野市の取組み

地域包括支援センター9か所と医療連携型オレンジ広場（認知症カフェ）1か所にWEB会議セット用PCおよびWiFi環境を整備しました。

#### < オレンジ広場（認知症カフェ）の取組み >

- ・令和3年度も感染予防に注意しながら開催。
- ・オンライン開催の意見を参加者に聴取。
- ・医療連携型オレンジ広場では定例でオンライン開催を実施。
- ・圏域の包括で開催している認知症家族介護者交流会でもオンラインと会場のハイブリット開催を試験的に実施。

#### < 認知症サポーター養成講座の取組み >

- ・中学校での養成講座をオンラインで開催。

#### < 認知症を知る月間・オレンジフェス2021の取組み >

- ・9月26日(日)第1部午前 「若年性認知症の母と生きる」講演会  
第2部午後 「認知症は特別なものではない」を知るディスカッション  
第1部、第2部ともにオンライン配信
- ・RUN 伴+ひの2021 バトンリレー動画配信  
日野自動車日野レッドドルフィンズとコラボし、ラグビーボールで認知症支援者がバトンリレーし、メッセージを動画で配信

#### 【まとめ】

令和3年度は外出自粛のなか、オンラインでの開催ができるように環境整備に取り組みました。地域包括支援センターでは、高齢者のICT推進のため、スマホ講座の開催や包括公式LINEによる情報発信も開始されました。今後も引き続き地域包括支援センターや関係機関と連携し認知症施策の推進に取り組んでまいります。